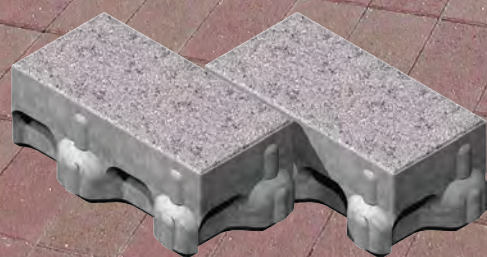




重車両用ブロック

STRONG PAVE

ストロングペイブ



尾張旭市道巡検道線道路改良工事

『健康都市 尾張旭市』

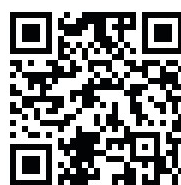
名古屋市の東方、尾張丘陵に位置し、緑豊かで公園の多い尾張旭市は2004年、世界保健機関、西太平洋地域健康都市連合に加盟し健康都市宣言を行っております。

「寝たきりにさせない街づくり」「外に出かけたくなる街づくり」「住み続けたくなる街づくり」をコンセプトに各種事業を推進しております。

今回、尾張旭駅周辺の市道巡検道線道路改良工事でインターロッキングブロックの常識を破った待望の重車両用ブロック【ストロングペイブ】並びに【バリアフリーペイブ】を採用いただきました。



■ ペイブブロック



webカタログもご覧下さい





①ストロングペイブ

②バリアフリーペイブ

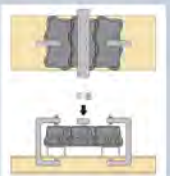
尾張旭市道巡検道線道路改良工事

●連結部強度の検証

ブロック3個をジョイントした状態でセットし、端部ブロックのみ固定します。このとき中央のブロックは固定なし状態とします。中央のブロックに荷重をかけ、連結部が破壊するまで載荷し最大強度を確認しました。

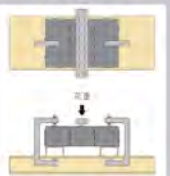
ストロングペイブは従来ブロックに対して**25倍以上**の強度が確認されました。

ストロングペイブの場合



最大荷重
1506kg

従来のインターロッキングブロックの場合



最大荷重
57kg

●連結構造耐力の検証

四辺フレームによる支持状態でブロックを吊り上げ、20kg入り砂袋による載荷試験を行い耐力を確認しました。

従来ブロックでは20kgで陥没したのに対してストロングペイブは**400kg**でも底面のたわみがほとんどなく平坦性が保たれ3次元連結構造による高い耐力が確認されました。

ストロングペイブの場合



最大荷重
400kg

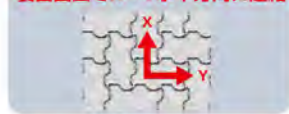
従来のインターロッキングブロックの場合



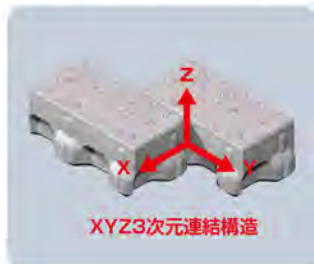
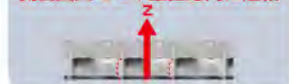
最大荷重
20kg



裏面凹凸でX↔Y水平方向に連結



側面凹凸でZ↑垂直方向に連結



Strong Point 水平、垂直の強固な3次元連結構造 ■ ペイブブロック

従来のインターロッキングブロック舗装の弱点であった車両走行による水平、垂直方向のスレやわだちを画期的な3次元連結構造で抑制する待望のペイブブロックの誕生です。

輪荷重分散性の高い100mm×200mmサイズは、3次元連結構造と組み合わせることで、路面の安定性をより確かなものにします。

シンプルな表面形状であらゆるシーンでの景観性も兼ね備えております。



webカタログもご覧下さい

現場住所 愛知県尾張旭市東大道町原地内

施主名 尾張旭市役所

竣工年月 2018年3月

納入製品 ① ストロングペイブ(T-80) 145㎡

ディープレット、ダークオレンジ、アイボリー、ライトブラウン

② バリアフリーペイブ(T-60) 435㎡

ディープレット、ダークオレンジ、アイボリー、ライトブラウン